

第125回 (令和3年7月) 情報処理技能検定試験(表計算) 4級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は20分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

社員名	時給	実働時間
川上 真一	980	155
泉 わかな	940	149
中西 マキ	1,030	160
小山田 純	970	148
三浦 和男	960	154
石川 直子	1,040	138
木下 海人	1,060	142
野村 美樹	1,050	156

<処理条件>

- <出力形式>のような社員別賃金一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 基本賃金=時給×実働時間
勤勉手当=38×実働時間
支給額=基本賃金+勤勉手当
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式>

社員別賃金一覧表

社員名	時給	実働時間	基本賃金	勤勉手当	支給額
合 計	――	――			
平 均	――	――			

第 1 2 5 回 (令和 3 年 7 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 3 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表を完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	得意先名	商品名	原価	売上数
101	桜井商店	D	2,760	342
102	つるや	E	1,980	285
103	前川商事	F	3,670	279
104	ナカムラ	G	1,510	467
105	星商事	H	2,030	426
106	丸山水産	I	1,590	314
107	佐藤物産	J	2,560	367
108	新鮮堂	K	2,950	252
109	小池食品	L	3,320	330

<値引率表>

売上数	値引率
330 以上	6.8%
それ以外	5.9%

<処理条件>

- <出力形式1>のような得意先別請求額一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 定価=原価×1.28(整数未満切り上げ)
金額=定価×売上数
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
請求額=金額×(1-値引率)(整数未満切り捨て)
- 合計を求めなさい。
- 定価の降順に並べ替えなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)

<出力形式1>

得 意 先 別 請 求 額 一 覧 表

CO	得意先名	商品名	原価	定価	売上数	金額	値引率	請求額

(途 中 省 略)

――	合 計	――	――	――			――	

<出力形式2>

定価の平均	
金額の平均	
請求額の最大	

第 1 2 5 回 (令和 3 年 7 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 準 2 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

販CO	販売先名	商CO	販売数
101	秋山総業	12	508
102	小石川商事	14	335
103	山口商会	13	524
104	新朝日企画	15	423
105	関東物産	13	510
106	鈴木ストア	11	396
107	金子食品	14	369
108	みどりや	15	392
109	ヤマキ商店	12	497

<商品テーブル>

商CO	商品名	定価
11	商品A	1,960
12	商品B	1,720
13	商品C	1,570
14	商品D	1,840
15	商品E	1,630

<値引率表>

販売額	値引率
70 万以上	⇒ 5.8%
60 万以上 70 万未満	⇒ 4.7%
60 万未満	⇒ 3.6%

<処理条件>

- <出力形式1>のような請求額一覧表を作成しなさい。(——の部分は空白とする)
- 商品名・定価は<商品テーブル>を表検索しなさい。
- 売価=定価×0.87(整数未満切り上げ)
販売額=売価×販売数
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
請求額=販売額×(1-値引率)(整数未満切り捨て)
- 販売数が510以上または請求額が700,000以上に“**”、それ以外に“*”の評価をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- 販売数の少ない順に並べ替えなさい。
- 請求額一覧表の定価のセル証明をしなさい。
- <出力形式2>のような処理をしなさい。販売額・請求額は¥表示とする。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 請求額一覧表の請求額の値を販売先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“販売先別の請求額”とし、凡例は“請求額”とする。

<出力形式1>

請 求 額 一 覧 表

販CO	販売先名	商CO	商品名	定価	売価	販売数	販売額	値引率	請求額	評価
(途 中 省 略)										
——	合 計	——	——	——	——			——		——

<出力形式2>

	販売数	販売額	請求額
平 均			
最 大			
最 小			

第 1 2 5 回 (令和 3 年 7 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 2 級問題

<問 題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

商ＣＯ	商品名	仕入数	仕入額
11	G 商品	273	462, 310
12	H 商品	349	388, 260
13	I 商品	317	474, 580
14	J 商品	194	372, 410
15	K 商品	362	590, 370
16	L 商品	257	528, 580

※<出力形式 1 >で使用する。

取ＣＯ	取引先名	商ＣＯ	売上数
101	マルワ商会	12	200
102	久保田商事	13	124
103	二階堂総業	13	177
104	大木ストア	16	208
105	コスモス堂	15	160
106	すみれ百貨	11	219
107	南佐山商店	15	197
108	新豊田食品	14	172
109	カネコ雑貨	12	135

※<出力形式 2 >で使用する。

<値引率表>

定価	値引率
2, 300 以上	9. 8%
2, 000 以上 2, 300 未満	10. 2%
1 以上 2, 000 未満	10. 6%

<処理条件>

- <出力形式 1 >のような商品別仕入一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 原価＝仕入額÷仕入数(整数未満切り捨て)
定価＝原価×1. 29(整数未満切り上げ)
- 合計を求めなさい。
- <出力形式 2 >のような取引先別売上一覧表を作成しなさい。(—— の部分は空白とする)
- 商品名・定価は、商品別仕入一覧表を表検索しなさい。
- 値引率は<値引率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
売価＝定価×(1－値引率)(整数未満切り上げ) 売上額＝売価×売上数
- 売上数が200以上または売上額が350, 000以上に“**”、それ以外に“*”の評価をしなさい。
- 合計・平均(整数未満四捨五入の表示)を求めなさい。
- 売上額の多い順に並べ替えなさい。
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- 取引先別売上一覧表の定価と評価のセル証明をしなさい。
- 取引先別売上一覧表の売上額の値を取引先名別の横棒グラフにしなさい。
タイトルは“取引先別の売上額”とし、凡例は“売上額”とする。

<出力形式 1 >

商品別仕入一覧表

商ＣＯ	商品名	仕入数	仕入額	原価	定価
(途 中 省 略)					
——	合 計			——	——

<出力形式 2 >

取 引 先 別 売 上 一 覧 表

取ＣＯ	取引先名	商ＣＯ	商品名	定価	値引率	売価	売上数	売上額	評価
(途 中 省 略)									
——	合 計	——	——	——	——	——			——
——	平 均	——	——	——	——	——			——

商品名	販売数	請求額
商品S		
商品T		
商品U		
商品V		

第 1 2 5 回 (令和 3 年 7 月) 情報処理技能検定試験(表計算) 1 級問題

<問題>

- 下記の<入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
- 使用したテーブルを印刷しなさい。(表の形式は問わない)
- データ保存またはすべての表の数式印刷をしなさい。
- 試験時間は30分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

<入力データ>

CO	日数	販売数	販売額(万)	走行距離
101G	4	78	149	71
101G	9	270	240	224
101G	3	70	127	86
102E	6	113	187	120
102E	8	190	205	180
102E	7	192	216	153
103F	8	220	219	185
103F	5	100	180	102
103F	6	200	197	135
104G	4	85	203	97
104G	6	159	200	138
104G	9	231	236	200

<社員テーブル>

CO	社員名
101G	田中 英雄
102E	東 かおり
103F	杉山 和夫
104G	石川 正美

<出張手当単価テーブル>

等級	出張手当単価
E	1,780
F	1,860
G	1,940

※等級はCOの右から
1文字目とする。

<乗率表>

販売数	販売額(万)	乗率
100 以上	かつ 200 以上	3.1%
それ以外		2.9%

<運転単価表>

走行距離	運転単価
1 以上 120 未満	217
120 以上 180 未満	226
180 以上	238

<処理条件>

- <出力形式1>のような出張販売諸手当一覧表を作成しなさい。(――の部分空白とする)
- 社員名は<社員テーブル>を表検索しなさい。
- 出張手当=出張手当単価×日数 ※出張手当単価は<出張手当単価テーブル>を参照する。
- 乗率は<乗率表>を参照し、求めなさい。(％の小数第1位までの表示とする)
販売手当=販売額(万)×10,000×乗率(100位未満切り上げ)
運転手当=運転単価×走行距離(10位未満切り捨て) ※運転単価は<運転単価表>を参照する。
総支給額=出張手当+販売手当+運転手当
- 販売数が200以上または総支給額が10万以上に“*”の判定をしなさい。
- 合計を求めなさい。
- <出力形式1>と同じ形式で、販売数が200以下で総支給額が9万以上を抽出しなさい。
表題は“出張販売諸手当一覧表(販売数200以下・総支給額9万円以上)”とし、販売手当の降順にソートしなさい。
- 出張販売諸手当一覧表を基に<出力形式2>のような処理をしなさい。
- 出張販売諸手当一覧表を基に<出力形式3>のような処理をしなさい。(平均は整数未満四捨五入の表示とする)
- 罫線の太線と細線を区別する。(外枠は太線とする)
- <出力形式2>の出張手当・販売手当を社員名別の積み上げ横棒グラフにしなさい。
タイトルは“社員別の集計グラフ”とし、凡例は“出張手当”、“販売手当”とする。

<出力形式1>

出張販売諸手当一覧表

CO	社員名	日数	出張手当	販売数	販売額(万)	乗率	販売手当	走行距離	運転手当	総支給額	判定
(途中省略)											
――	合 計					――					――

<出力形式2>

社員別集計表

社員名	出張手当	販売手当	総支給額
田中 英雄			
東 かおり			
杉山 和夫			
石川 正美			

<出力形式3>

日数が8日以下で販売数が120以上の件数	
販売数が100以上200未満の総支給額の平均	
COが103F以外の販売手当の合計	

第125回（令和3年7月）
情報処理技能検定試験（表計算）
初段 問題

試験時間	30分
------	-----

1. <入力データ>を基に、<処理条件>に従って表およびグラフを完成しなさい。
2. 表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、3桁ごとにコンマをつけること。
3. <出力形式>に「合計」「平均」などがある場合は、関数により処理を行うこと。ただし「——」部分は空白とする。
4. 表には罫線を引くこと。（罫線の太線と細線は区別する。外枠は太線とする。）
5. 使用したテーブルの表の形式は問わない。
6. [] 内文字はシート名とする。テーブルや作成する表にシート名があるものは、それぞれこのシート名でシートを作成し、処理を行うこと。

（例 <出力形式1> [前期]・[中期]・[後期] →前期、中期、後期の各シートを作成し、それぞれ指示された表を作成する。）
7. 作成したデータは事前に準備したファイル（初段・受験番号・名前）に上書き保存する。

（例：初段101日検太郎）

問 題

<入力データ>（各 2 4 件）※テキストデータは SPS フォルダー内のデータを使用する。

〔仕入データ〕

製CO	仕入数	原価
11	161	5,360
12	104	5,220
21	143	3,270
22	109	6,060
31	114	5,070

： ：

22	92	6,540
31	115	5,130
32	65	4,520
41	98	3,970
42	95	6,210

〔売上データ〕

得CO	製CO	売上数
101C	11	141
101C	12	74
101C	21	86
101C	31	116
101C	41	178

： ：

104C	21	178
104C	22	86
104C	31	129
104C	32	98
104C	42	112

<得意先テーブル>〔テーブル〕

得CO	得意先名
101C	飯島貿易
102A	A F A K
103B	ミヤ企画
104C	山北総業

<割引率テーブル>〔テーブル〕

区分	割引率
A	10.1%
B	8.4%
C	6.8%

※区分は得COの右から1文字目。

<製品テーブル>〔テーブル〕

製CO	製品名	定価	期首在庫数
11	S製品	5,960	79
12	T製品	5,740	81
21	U製品	3,480	56
22	V製品	6,960	49
31	W製品	5,760	49
32	X製品	5,080	69
41	Y製品	4,460	61
42	Z製品	6,680	71

<処理条件>

1. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V形式）を使用し、<出力形式 1>のような表を作成。

<出力形式 1>〔仕入データ〕

製CO	仕入数	原価	値引額	仕入額
（ 途 中 省 略 ）				
合 計		—		

- 1) 値引額は、仕入数が 150 以上または原価が 5,000 以上の場合、原価×仕入数×8%、それ以外は、原価×仕入数×5%。
（10 位未満切り上げ）
- 2) 仕入額＝原価×仕入数－値引額

2. <入力データ>（テキストデータ、日本語シフト J I S、C S V形式）、<得意先テーブル>、<製品テーブル>、<割引率テーブル>を使用し、<出力形式 2>のような表を作成。

<出力形式 2>〔売上データ〕

得CO	得意先名	製CO	売上数	売価
（ 途 中 省 略 ）				
—	合 計	—		—

- 1) 得意先名は<得意先テーブル>を表検索。
- 2) 売価＝定価×（1－割引率）（整数未満切り捨て）

3. <出力形式1>、<出力形式2>、<製品テーブル>を基に、<出力形式3>のような表を作成。

<出力形式3> [計算表]

製品別在庫計算表					
製CO	製品名	仕入数	売上数	期末在庫数	判定
(途中省略)					
——	合 計				——

- 1) 製品名は<製品テーブル>を表検索。
- 2) 仕入数、売上数は基表の同項目の値を集計。
- 3) 期末在庫数＝期首在庫数＋仕入数－売上数
- 4) 定価が 6, 000 以下で期末在庫数が 45 以上に “*” の判定をする。

4. <出力形式2>を基に、<出力形式4>のような表を作成。

<出力形式4> [計算表]

得意先別計算表					
得意先名	売上数	売上額	諸経費	請求額	販促金
(途中省略)					
合 計					

- 1) 売上数は、基表の同項目の値を集計。
- 2) 売上額＝売価×売上数 ※基表の同項目の値を計算後、集計する。
- 3) 諸経費は、売上数が 700 以上かつ売上額が 380 万以下の場合、売上額×1. 9%、それ以外は、売上額×1. 6%。
(10 位未満切り捨て)
- 4) 請求額＝売上額＋諸経費
- 5) 販促金＝200, 000× $\frac{\text{請求額}}{\text{請求額の合計}}$ (100 位未満四捨五入)
- 6) 請求額の降順に並べ替え。

5. <出力形式4>を基にグラフを[計算表]シートに作成。

- 1) グラフの種類は、得意先名別の売上数を折れ線、請求額を縦棒にした複合グラフ。
- 2) グラフタイトル、凡例は以下のとおりにする。

